



総力で「戦争法案」採決阻止へ

国会の審議・採決予定

- 14日(月) 安倍首相などが参加しての「集中審議」
- 15日(火) 午後1時から「中央公聴会」
- 16日(水) 午後1時から新横浜で「地方公聴会」
- 17日(木) ~18日(金) 参議院特別委と本会議で採決?

阻止行動の予定

- 14日(月) 17時~18時30分、衆議院第2議員会館前(全国労組交流センター・全学連) / 18時30分~20時、国会大包围(総がかり行動実)
- 15日(火) 12時30分~、国会正門前すわりこみ、18時30分~20時、国会正門前集会(総がかり行動実)
- 16日(水) 11時~15時、新横浜駅前・新横浜プリンスホテル前(神奈川労組交流センターなど) / 18時30分~、国会正門前集会(総がかり行動実)
- 17日(木) 10時~ 衆議院第2議員会館前(全国労組交流センター・全学連) / 18時30分~、国会正門前集会(総がかり行動実)
- 18日(金) 18時30分~、国会正門前集会(総がかり行動実) など、終日の行動あり

(以上、9月13日現在の行動予定です)

安倍首相は「議論は熟した」「決めるときは決める」と言い放ち、高村・自民副総裁は「国民に十分理解が得られていなくても決めないといけない」と開き直っています。どうして「熟した」などと言えるのか。本当に許せませんが、追いつめられて

いるのは安倍政権の方です。8月30日、国会周辺は12万人の人々で埋め尽くされました(上写真)正門前に押し寄せる人波。私たちには戦争への道を阻止する力があります。これ以上の怒りを集めて、強行採決のための国会審議をぶっ飛ばしてやりましょう!

戦争と民営化の安倍政権を倒せ!
闘う労働組合を全国の職場に!

11・1全国労働者集会

11月1日(日) 正午・日比谷野音
【呼びかけ】関西生コン支部、港合同、動労千葉、国鉄全国運動

国会正門前で採決阻止集会

9.13



9月13日(日)午後、全国労組交流センターと全学連(斎藤郁真委員長)の主催で国会正門前集会(上写真)と銀座デモが行われ、約2千人が採決阻止の声をあげた。百万人署名運動の西川重則事務局長も教会から駆けつけ、「労働組合と市民による国際連帯が重要だ。学習し、アジアの人々と共に戦争絶対反対を貫こう」と訴えた。

全学連の斎藤君は、「法政大学では学内でヒラまきすらできない。民主主義を唱える

安倍が言う、「安全保障環境が変わった」というのはすべてウソだ。何が戦争を生み出しているのか? この国を支配している、わずか1%の連中の危機だ。その危機を私たち労働者99%に転嫁してきたが、それでもダメだから戦争をしようとしているんだ。

誰のための戦争か? 集団的自衛権行使容認の閣議決定の前にやったのは、武器輸出三原則の見直しだった。つまり、武器をつくっ

て金を儲けたいという、財界の利益のための戦争だ。彼らの金儲けのために戦争に動員されて、国境を越えて労働者どうして殺しあう。こんなことがまかり通っていないはずがない。戦争を止める。労働組合こそが、

今こそ闘う団結を取り戻さなければならない。

先日、労働者派遣法が改悪された。すべての労働者が非正規に突き落とされて、戦争への道が敷きつめられようとしている。これと対決して、動労千葉はこの秋、J R外注化と非正規職化と戦争に反対してストライキに立ち上がる。14日からの国会闘争では、採決を許さない声が国会を圧倒して、審議を止めてしまおう。そういう力を全力で集めよう。

動労千葉・田中委員長が発言

と対決して、動労千葉はこの秋、J R外

政治学の教授に、この法大の現実をどう思うかと質問したら、『私は大学に雇われているだけだから、その件について語る権限は私にはない』と。民主主義を主張しながらも、自分の労働現場では何も言えない。こういう現実を変えよう。労働者と学生が職場・キャンパスでストライキに立ち上がる。その力が安倍を倒し、戦争を止める。私た

ちは、京大と東北大を先頭にして全国で反戦ストにうつって出る」と表明した。

そのほか、J Rの労働組合、青年労働者や学生、福島や沖縄などから発言があった。最後に高山俊吉弁護士が「70

年談話を見よ。安倍はガタガタだ。労働者市民の実力が追いつめている。みんなで闘い抜いて安倍を倒し、戦争法と改憲を阻止しよう」とまとめた。集会後、日比谷公園から銀座へデモ行進した。

を、山本太郎議員と系数慶子議員を通して参議院議長に提出した。これで今夏、国会に提出したのは2万1865筆となる。諸個人が必死に集めた署名が数多く寄せられた。

戦争法反対署名第三次分を提出

百万人署名運動は11日、「戦争法と改憲に反対する」署名の第三次分6298筆